

# MIND FULNESS

マインドフルネス

『“今ここ”にただ集中している心のあり方』という“マインドフルネス”は瞑想に近いもので、近年の研究で有効性が示され、現在は医療の分野でも用いられています。

実践し継続することで、**集中力を高め、ビジネスのパフォーマンスを向上させ、心身のリラックス、睡眠の質の向上、うつ予防、免疫機能の向上**など実証データが多数報告されています。

「トリニティーシリカヒーリング」は、頭頂部ひやくえ（百会）にたっぷり塗布する事で“**松果体**”（脳に存在する小さな内分泌器）に**ケイ素**をチャージ。エネルギーが満たされ、【**体内の内面Mind（心）**】と【**外面Body（体）**】に癒しを与え、マインドフルネスをするのに欠かせないヒーリングローションです。



トリニティーシリカヒーリング (1000mL) <ヒーリングローション> ¥12,000+税

## 使用方法

朝



頭頂部（百会）にたっぷり塗布して、マッサージします。レモンガラスの香りと朝5分間のマインドフルネスでスッキリとした1日が始められます。



夜



シャンプー後、30ccを頭頂部（百会）に塗布。就寝前のマインドフルネスで1日のネガティブ感情をリセット。睡眠の質の向上、うつ予防、免疫機能の向上などに働きかけます。



お問い合わせ

販売元：株式会社 環境保全研究所  
〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里 3545-5896  
TEL.0551-48-5300 FAX.0551-48-5388  
<https://www.kankyo-hozen.co.jp/>

# TRINITY Silica Healing

Charged to “HYAKUE”

自分を浄化する。  
リセットして  
ストレス・悩み・不安を

10月2日発売

“ココロとカラダが軽くなる” マインドフルネス専用ヒーリングローション

# 「トリニティーシリカヒーリング」3つのポイント

POINT  
1

“松果体”にエネルギーチャージ！  
当社オリジナル「水溶性ケイ素」

【水溶性ケイ素（ハケ岳産）】<sup>※1</sup> ※1 ケイ酸Na

山梨県と長野県に跨る日本百名山の一つ“ハケ岳”の黒曜石を原料に特殊な方法で抽出した当社オリジナルの「水溶性ケイ素」を配合しています。

ケイ素は松果体だけでなく、脳や全身の細胞の構成、皮膚や髪にも含まれている必須ミネラルです。ケイ素は不眠症やうつ状態を防ぐのに欠かせない必須要素です。



松果体の活性化、不眠症・うつ改善

POINT  
2

ストレスフリーな生活、認知症改善！  
脳神経の再生・修復をサポート！

【ヤグルマ菊花エキス（フランス産）】<sup>※2</sup>

※2 ヤグルマギクハナ花エキス

5月5日の端午の節句が近づくと花を開き、その形がこいのぼりの先端につける矢車に似ていること由来。細胞老化の遅延や寿命延長のほか、ストレスに対抗する幸福感（充実感、安心感、やすらぎ等）の改善までエビデンスが取れているとても珍しい成分。



心身の健康状態、幸福感、社交性アップ

【レモングラス水】

レモングラスの香りに交感神経に働きかける作用があることから、脳の血流がアップして脳機能が改善。認知症のなかでも特にアルツハイマー型認知症の改善に期待が寄せられています。

さらに記憶を司る前頭葉を活性化することや、うつ・更年期障害・睡眠障害・生活習慣病の治療としても期待されています。一般的に香りは、気分だけでなく全身にも作用します。香りをかぐと、鼻から大脳辺縁系を経て、自律神経、免疫系、内分泌系・記憶学習を司る視床下部（下垂体）にダイレクトに働きます。



アルツハイマー予防・脳の血流アップ

【ビタミンB12】<sup>※3</sup>

※3 シアノコバラミン

水に溶ける水溶性ビタミンのひとつ。カキなどの魚介類やレバーに多く含まれており、赤い色から「赤いビタミン」とも呼ばれ、全身に酸素を運ぶための赤血球の生成にかかわることから「造血のビタミン」、更には末梢神経の傷の修復にも関与し、神経症状を和らげることから「末梢神経のビタミン」、また、脳細胞や脳神経の再生や修復をすることから「脳のビタミン」とさまざまな呼び名のある万能ビタミン。

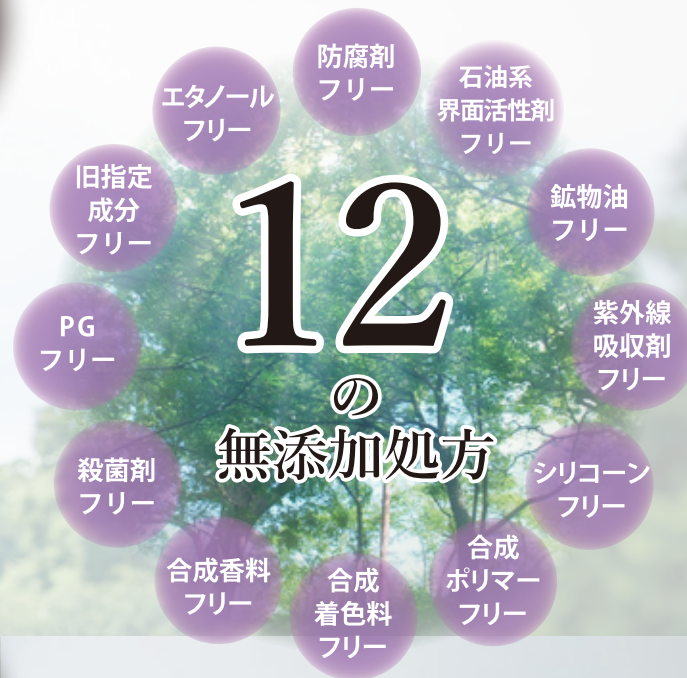


脳細胞や脳神経の再生・修復サポート

POINT  
3

毎日使うもの、だからこそ  
こだわりの12種類のフリー処方

全12種類のフリー処方により、心や体にダメージを与える事なく、安心してお使いいただけます。



「今、ここに」意識を向ける

ストレスやネガティブ感情をなくし安定した状態をつくる。  
凝り固まった心身をリラックスさせ気持ちをリセットする新しい習慣。  
忙しい現代人でも、日常生活の中で気軽に続けられます。

